

協働評価シート

事業名		公立保育所愛護事業		実施年度	平成21年度
部 局		福祉部	課 所	児童福祉課	
団体等の名称		(社) 新居浜市シルバー人材センター			
評価項目		評価者	評価	左の評価の説明	
相互理解	それぞれの特 性を理解し 合えたか	お互いの特 性や立場を 十分に認め 、尊重し、 事業をこた え実施する ことができ たかどうか を評価。	団体等	A	団体の特性を生かした事業実施ができた。
			市	A	
			相互協議 結 果		
対等	双方が対 等の立場 に立って いたか	対等な立 場で協議、 事業実施 ができた かどうか を評価。	団体等	A	対等な立場での協議、事業実施ができた。
			市	A	
			相互協議 結 果		
自主	市民の自 動的な活 動が尊重 されたか	自主的活 動を十分 に活かし て事業 効果を 増加さ せたか どうか を評価。	団体等	A	団体の自主的活動が十分に発揮された。
			市	A	
			相互協議 結 果		
自立	市民の自 立化を 阻害し なかつ たか	依存体質 が助長 される など、 市民の 自立化 が阻害 される ことが なかつ たかど うかを 評価。 (新たな 自発的 事業展 開につ ながり 自立化 が進ん だ場合 はA評 価)	団体等	A	自発的な事業展開が見られ、より効果的な成果が得られた。
			市	A	
			相互協議 結 果		
目的共有	双方が協 働の目的 を共有 できた か	協働事業 の目的は 十分に 共有し て事業 実施が できた かどう かを評 価。	団体等	A	十分な協議のうえ事業が実施され、目的を共有することができた。
			市	A	
			相互協議 結 果		

情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果	協議等も十分にでき、情報の共有が図られた。	
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果	双方の関係を十分に公開できた。	
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A	園児との交流もでき、ボランティア意識の向上につながった。
			市	A	本事業を通して、できる範囲の修繕は自分たちですという意識を持つことができた。
			相互協議結果		
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたのか、		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
			相互協議結果	継続的な事業実施の必要性を認識した。	

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか等（自由記述）

団体等	<p>本事業をとおして、ボランティア活動の輪を広げることができ、より一層の地域貢献をすることができた。</p> <p>より効果的な成果を得るためには、修繕個所の優先度を見極め、損傷が激しい個所を重点的に修繕していく必要があると思われる。</p>
市	<p>団体が持っているノウハウや人材を活用し、効果的な事業実施が図られた。また、自主的な提案からの事業展開もあり、当初計画以上の成果が得られた。今後も継続して事業を実施していきたい。</p>
相互協議結果	<p>地域の財産としての保育所を市と団体が協働して維持管理するという目的を達成することができた。また、地域に対するボランティア意識の向上や世代間の交流を深めることができた。</p>